

ネイティブ牛ガラクトシルトランスフェラーゼ

Cat. No. NATE-0274

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 ガラクトシルトランスフェラーゼは、オリゴ糖の合成においてガラクトシル分子の転送を触媒します。

用途 ガラクトシルトランスフェラーゼは、乳糖合成酵素系の触媒成分です。これは、調節タンパク質 α -ラクトアルブミンが存在しない場合に乳糖をゆっくり合成します。ガラクトシルトランスフェラーゼは、UDP-ガラクトースからN-アセチルグルコサミンにガラクトースを転送することもあります。この調製物は、 α -ラクトアルブミン、UDP-ガラクトース、およびN-アセチルグルコサミンの測定に役立ちます。

別名 EC 2.4.1.22; UDP- α -D-ガラクトース-グルコース ガラクトシルトランスフェラーゼ; N-アセチルラクトサミンシンターゼ; ウリジン二リン酸ガラクトース-グルコース ガラクトシルトランスフェラーゼ; ラクトースシンターゼ; UDP-ガラクトース:D-グルコース 4- β -D-ガラクトシルトランスフェラーゼ; UDP-ガラクトース:D-グルコース 4- β -D-ガラクトシルトランスフェラーゼ; 9031-68-9

製品情報

種 牛の

由来 牛乳

形態 トリス、EDTA、および(NH₄)₂SO₄を含む凍結乾燥粉末

EC番号 EC 2.4.1.22

CAS登録番号 9031-68-9

混入物 <10 % タンパク質 α -ラクトアルブミン

単位定義 1ユニットは、反応混合物1 mLあたり0.2 mgの α -ラクトアルブミンが存在する条件下で、pH 8.4、30°CでUDP-ガラクトースからD-グルコースに1.0 μ moleのガラクトースを1分あたり転送します。（ α -ラクトアルブミンを追加しない場合、活性はゼロです）

保管・発送情報

保存方法 -20°C